



公開講座「地域住民の健康は薬剤師が守ります！  
～かかりつけ薬剤師の使命～」開催

6月25日(土)14時から兵庫医療大学にて公開講座  
「地域住民の健康は薬剤師が守ります！～かかり  
つけ薬剤師の使命～」を開催し、40名の方にご参加  
いただきました。

(講師：兵庫医療大学 村上雅裕 薬学部 助教)

2016年4月より新設された「かかりつけ薬剤師」制度では、医療費の増加や残薬の発生など医療を取り巻く諸問題の解決が期待されています。かかりつけ薬剤師とは、専任の薬剤師が24時間体制で患者さんをサポートする制度です。いつでもお薬や健康増進・維持に関する相談に来ていただいて構いません。

わが国では、後発医薬品の使用やセルフメディケーションの推進により、医療費の削減が図られています。薬剤師は、後発医薬品に関する多くの情報を持っています。例えば、通常の後発医薬品とは異なり、特許失効の6ヶ月前から販売可能なオーソライズドジェネリックというものがあります。これは、有効成分だけではなく、添加物も全く同じであるにもかかわらず、価格は先発医薬品よりも安いのが特徴です。医療費を少しでも減らしたい場合は、かかりつけ薬剤師に相談をしてみてください。



また、セルフメディケーションでは、医療用医薬品から市販薬に転用された「スイッチ OTC 医薬品」が数多く販売されています。これまでは病院への受診が必要であった場合でも、薬剤師の指導のもと市販薬での対応が可能となっています。

かかりつけ薬剤師は、地域住民の健康に関するあらゆる相談をお受けしますので、今回のお話を参考にさせていただき、ぜひこの制度を活用して下さい。



参加者の方からは、「大変わかり易くお話いただいたので良かったです。自分が現在服用中のお薬の名がでて、後発ジェネリックであっても安心できることがよくわかりました。ありがとうございました。」

「かかりつけ薬剤師さんのことを仕事や役割り、説明を詳しく学ぶことが出来ました。それと共にコミュニティの在り方も大切だと思いました。」

「薬剤師の使命がよく分かりました。今までは薬をもらう所だと思っていました。」などの意見をいただきました。

次回公開講座は9月17日(土)14時～「脳卒中～生活のなかの工夫～」開催予定です。